



発行所 都立田園調布高等学校 同窓会 月日会 東京府大田区田園調布南27-1 電話 03(3730)4346 発行人 田中博隆 編集責任者 井 里 紀

母校50周年 記念号

- 母校50周年特集(2面・3面)
● 母校50周年事業寄付ありがとう(4面)
● ホームページ公開(5面)
● 名物先生訪問(6面)

月日会五十周年へ向けて、寄付のお願い
月日会会計 熊谷和巳(三十八期)
会員の皆様には例年、ご協力を頂き有難うございます。前年度は、母校五十周年記念事業への多大な寄付を皆様より賜り、重く御礼申し上げます。月日会は来る2002年に、五十周年を迎え同窓会五十周年を迎えます。それを記念して、月日会として記念式典の準備のため、会員の皆様へ寄付のご協力をよろしくお願い申し上げます。

祝 創立50周年 都立田園調布高校 田高創立五十周年 盛會裏に終わる

1999年11月6日(土)、母校体育館にて、「田高創立50周年記念祭」が催されました。50周年記念事業「別表」の一環として、生徒が中心に企画したもので、記念式典の序幕や47期生の高田和樹さんが作曲した「創立50周年記念「樹」」の演奏などが行われました。午後からは、舞台を大田区民プラザに移して、月日会、PTA、清流会、PTSAの同窓会と主催による、祝賀会が、約280人の出席者で盛大に行われました。卒業生を中心とした琴アンサンブルのほか、尺八、ギター、マリンバ、パーカッション、エレクトロニクスのすばらしい演奏が披露されました。また、田高茶道部講師「巽千重子」の村上宗由氏と田高茶道部による、お茶のコーナーも設けられました。来賓の先生方からは、思い出を中心とした懐かしいお話を伺うことが出来ました。母校の50周年を祝いながら、久しぶりに旧友、恩師と話が弾む楽しい祝賀会となりました。再来年の2002年は、月日会としての50周年記念式典を行います。是非おいでください。



創立五十周年を終えて 第十二代学長 吉田 秀 男

月日会会員の皆様にはお元気で活躍のことと思います。昨年、本校は五十期生が入学し、十一月には盛大な創立五十周年記念行事を成功裏に終えることができました。これも偏に、実行委員会を立ち上げての準備の段階から、最後の反省会まで田中博隆学長様を中心とした月日会会員の熱心なご支援ご協力の賜物であり、厚く御礼申し上げます。本校半世紀の歩みの中で、月日会として本校の教育活動に多大なご厚力をいただき、また、大変喜ばしいことです。(一)、「〇〇件を超えました。」情報交換、事務連絡等、今後益々の利用が期待されることです。そして第三には、財団法人田園調布と一致協力して、田高を核とした支援活動を展開してゆくことです。財団とともに母校の発展に寄与することが、ひいては同窓会の充実につながるものと考えます。現在私が、財団の理事長を務めさせて頂いておりますが、月日会からは、他に役員や幹事が、財団の理事や評議員として活動しております。会員のひとりひとりの力が「同窓会五十周年」に結実されることを祈っております。今後なお一層のご支援ご協力を切にお願ひ申し上げます。田高半世紀に乾杯!

多くの同窓生には運動部及び文化部それぞれの活動に対して後輩への指導に熱意と愛情を注がれておられました。同窓生からの数々のご支援は、本校にとって言葉に表せない大きな成果をもたらして頂きました。これまで、田高生は「誠実・敬愛・自主」の精神のもとに、自由を守り、田高生としての自覚と責任と誇りをもち、豊かさを人間性を身に付け、充実した高校生活を送るという長き校風、伝統を築いてきました。このように本校の教育は、社会の変化、社会的ニーズ、価値観や人生観など多様化が進み社会が激変する中で、高等学校教育の在り方もそれらに対応して改革が求められていますが、本校の教育の原点に立ちついでいると思えます。さらに、少子化による生徒数の激減で、公立私立を問わず高等学校は学費減や統廃合が実施されるなど、学校存続の厳しい状況の中で、本校はこれまで学校規模が変わることなく、全日制普通科の進学校として他校から期待され、愛されてきました。これからも本校が一層発展していくため、月日会の皆様のご理解並びにご支援を引き続きお願い申し上げます。二年後には五十期生が卒業して月日会として五十周年を迎えるの盛大な記念行事の成功を祈念し、月日会と会員の皆様とのさらなるご発展とご活躍を心から願っております。

Table with 2 columns: Item (e.g., 祝賀会, CD, 祝賀歌) and Details (e.g., Date, Location, Performers).

創立50周年記念祝賀会



中央月日会々長・左端清流会々長・右端PTA会長

11001年同窓会への五十周年に向けて
我等が母校「田園調布高校」は、昨年創立五十周年を迎えました。昨年十一月、記念行事が盛大に行われ、この輝かしい晴れの日に、先生方や新旧保護者の皆様、そして月日会の皆様とともに祝賀できましたことを喜んでおります。この行事開催に当りましては、恩師の先生をはじめ、元保護者の方々、そして月日会会員の皆様から、寄付金並びにご厚情を多数お寄せ頂き、誠にありがとうございました。ご芳名を会報にて報告致し、御礼とさせていただきます。さて、月日会では、いよいよ来る二〇〇二年の「同窓会五十周年」に向けて活動を始めております。「同窓会五十周年」の成功へのステップとしては、まず第一に根のつなごりの強化です。一期から五下期まで、すべての期に月日会の窓口を置いて頂くよう働きかけをして参ります。第二には、ホームページの活用、開設以来少しづつアクセス件数が増えていることは、

大変喜ばしいことです。(二)、「〇〇件を超えました。」情報交換、事務連絡等、今後益々の利用が期待されることです。そして第三には、財団法人田園調布と一致協力して、田高を核とした支援活動を展開してゆくことです。財団とともに母校の発展に寄与することが、ひいては同窓会の充実につながるものと考えます。現在私が、財団の理事長を務めさせて頂いておりますが、月日会からは、他に役員や幹事が、財団の理事や評議員として活動しております。会員のひとりひとりの力が「同窓会五十周年」に結実されることを祈っております。今後なお一層のご支援ご協力を切にお願ひ申し上げます。田高半世紀に乾杯!

第二次大戦が終結し半世紀余り、そして昨年は我々月日会会員の母校である田園調布高校が大田高等学校として産声を上げてから50周年を迎え、更に、来る2002年には月日会創設50周年を迎えることになる。とてもめでたいことである。筆者は50年も生きていないので、半世紀というものにどんな実感があるかは知るに及ばないのであるが、この半世紀は社会・文化・政治・科学・国際関係等々さまざまな分野において目覚ましい発展を遂げてきた。その発展は日本が欧米各国に追いつけ追い越せという目標で遂げられてきたもので、いわば教科書通りの勉強をしてきたことに他ならないのではないだろうか。しかし今や、その目標がこの半世紀で達せられた感があるように思える。教科書通り「マニュアル」だけでは大刀打ちでできなくなってきた。異の勉強、つまり思考を巡らし習得した知識を応用すること(学問)がここ最近様々な場面で求められている。今のままの社会や個人の常識や考え方に對し意識的の改革を求められていると考えているのは筆者だけののだろうか。(45期生 山田浩一)

多摩 1999 新会費 四十八期生 二百四十二名 月日会員は延一万三千八百八十五名となりました。連絡可能会員は、約九千八百名です。



周年特集

「青いレモンの香り」ともに

（二期生）鈴木洋子

親愛なる母校の創立五十周年という輝かしい節目に、同窓会員の一人として記念事業の準備などに参画し、先生方やPTAの皆様と喜びをともに出来たことに、改めて幸せを感じておられます。

長い準備期間には、それぞれの立場での思い入れや事情があつて、目的は同じ一つのことなのに、理解出来なかつたり、産回りしたりしたこともありましたが、学校側の「生徒主体」の方針にも、その実態に時代の隔り

を感じざるを得ず、歲月の流れをしみじみ思いました。主旨は充分理解出来たつもりでありましたが、それらが形となって現れたとき、少なからず戸惑いを覚えたのです。これがまた、準備中に先生達にはなく、直接在校生たちと接点を持つことが出来ていたら、今少し彼らの仕事を理解することが出来たのではないかと思います。いずれにせよ、いかに自分の在任時代が通か昔のことが思い知った機会ともなり、青いレモンの香



田園調布高等学校 開設50周年式典によせて

昭和二十八年卒（二期生） 浅井登美彦



その要素とは、この50年間、絶え間なく後輩が、通称魚の子山の「田高」に集いきてくれたことと、歴代校長をはじめ教職員が、それぞれの時代に感じ、各先生の個性に基づいて、知恵をさすけ、共に学業喜びを与えようとしてきたことである。

そして、我々卒業生が抱く一

母校の開設50周年の式典に際し、かつて、縁あつて、この学校に学び、その後は南其の地に、北の津に、活躍している、同窓生1万3千余名を、代表いたしまして、一言お祝いを申し上げます。

田高が開設以来50年間の長きを経て、今日を迎えたことは、確かに喜ばしく、おめでたいこととあります。

およそ学校が続き、同窓生が、それを喜び、めどないと思えますには、二つの大切な要素と、一つの卒業した者の「思い出」があるものと確信いたします。



ヨイショ、ヨイショのかけ声とともに録取り

創立50周年記念祝賀会



琴と尺八のアンサンブル
小谷恵子（15期生）・工藤乃理子（17期生）出演

幽明境を異にしておられることです。

一期生が昭和二十八年に母校を卒業してから、五〇年近くがたち、壮年、老境に達した多くの同窓にとつて、論理と理性は、社会の知にまみれ、足をも動かさなくなった情熱は、年齢と共に消えようとしていますが、田高3年間に培った、ロゴスとパトスの想いだけは、一人一人の胸中に今も残っており、確信しております。

ところで、我が田高の校舎は、創建期の建物はすでになく、その後も伝え聞く所によると、2回改築されていると、おすかに昭和25年当時を思い出させるものは、正面玄関左手の増設の樹木のみであります。

田高建物をこわし、すぐに新しくする。そしてそこには何らのモニエメントも残さないと云うは、我が国の悪い風潮であります。

田高50年の歴史をしのぶものが、校長室に飾られた、歴代校長の写真だけ、と云うのでは、あまりに寂しい限りではありませんか。

半世紀を過ぎた今、学校の中に、歴代教員や、それぞれの時代の生徒と教師の部活などの写真、校舎の模型、図面、古い時



会場内に設けられた茶会・梅田彩子（46期生）協力

に、現校長以下の教員各位、月日会役員各位が情熱を持って取り組む、各期の同窓生に声をかければ、多く賛同し、協力するに相違ありません。

お祝いを申し述べるとも、お祝いの言葉を呈することになってしまいました。

田高も50年を経て、既に初期は、歴史の遺蹟としたそれがれの中に大入りつつあります。それを憂う気持ちから、決して他意はなく祝賀の気持ちにはいささかも変わり



参加者全員で校歌熱唱

母校50周年記念誌とCDをお分け致します

ご希望の方は、FAXで申し込み下さい。

先着二百名まで。

一部 金、三万円也

FAX (03) 三三四八・六七八〇

氏名・住所・郵便番号・電話番号・期を記入して下さい。

本日は開設50周年おめでとうございます。

Tokyo Metropolitan Denenchofu Senior High School

The 50th Anniversary

1999

(創立50周年記念誌)

私が田園調布高校に赴任した平成10年にはすでに50周年記念事業の準備は立ち上がり、日程も平成11年11月6日と決まっていた。記念行事にむけて具体的に始動した始めたのは、10年後半になってからだった。記念誌では、各団体の関係者が10月に集まり、取り組みとしては早かったのですが、記念誌到着が式典当日の3日前となっていました。祝賀会場は、11年3月に念願の大田区民プラザを借りることができ、その後月日会とPTAが中心となって精力的に取り組みが進め

五十周年の禪渡しします

第十二代教頭 木嶋智恵

られました。校内では、同窓生(29期)である森野一朗教頭が委員長となり、すばらしい企画力を発揮し、中心となって取り組んでくれました。47期卒業の原田和樹氏に作曲を依頼し、それを式典当日生徒達が発表します。ピアノ曲、合唱曲、バンド演奏からなる3曲ですが、それらの曲は源田氏が田高をイメージしたといわれたとおり、田高の雰囲気よくとらえたものでした。またこの曲を記念品として、お礼を申し上げます。また一方で、記念美術作品の制作を2年美術選択の生徒で取り組み

ました。ペニヤ4枚分という大作です。本場にぎりぎり間に合いました。指導は、本校美術講師の橋本深氏のご協力をいただきました。現在この作品は、校長室の壁に掛けられております。お近くにお越しの際は是非お立ち寄りいただいでご覧ください。

周年行事にむけて代表者による総務会が会計報告を含め、全12回開催されています。50周年記念行事が盛衰に終えることができたのもこのようなお力がありました。50周年行事の企画の段階から同窓会会長の田中博隆氏をはじめ、多くの月日会の皆様のご支援とご援助をいただきました。誌上をかりまして、改めてお礼を申し上げます。また、今回皆様と一緒に取り組みをしていく中で、同窓生の皆様の母校に寄せる進歩ならぬ想



記念壁面

平成一十一年度に入る前後に、PTA関係の招待者リストを作成することになり、とてつもなく古い資料から最新の名簿までを辿り、歴代のPTA役員の名前と住所を抜き出し、精液会

実行委員長としての一年間で、具体的に決まったのは、記念行事の日にちと祝賀会の会場で、それ以外については大まかな目録と計画が立てられていた程度でした。会場に関しては、大田区民プラザのご好意で、「半年前の抽選」という形を取らずに、皆していただけのことになりました。これは本当に有り難いことでした。

祝賀会の準備をしていて楽しかったのはパネル作りです。私自身も私の知らない昔の出高の



(創立50周年記念CD)



田園調布高校 五十周年記念に寄せる

第七代校長 船本治義

田園調布高校は今年、創立五十周年を迎えた。五十年は学校の年齢としては決して長くはないが、二十一世紀にかけて更に、五十年百年と年輪を伸ばしてゆくであろう。しかし、長く存在したから、その学校がいいというわけではない。その中で生徒がみな、よき友達をもち、よき師について知識、技術、身につけ、他人に迷惑をかけることなく、自分の進むべき道をはっきりと見据えていく、そういう学校がよい学校だと私は考える。

卒業生が有名大学に多く進学する学校がいい学校であるというのは間違っていない。有名大学に進学するのはよいことだ。しかし、必ずしも有名大学に進まなくてもよい。自分の進路をはっきり定めて、自分の仕事を大切に、一生懸命働く。芸能界やスポーツ界で、成いは学問の世界で、有名にならねばなるのもよい。それはそれで結構なことだ。有名にならなくてもよい。それぞれ自分の仕事を大切に、田園調布高校をよりよき学校に高めてゆくことになる。一つの学校がよくなるか否かは、その同窓会の在り方にかかっている。

田園調布高校の卒業生が、ひとりひとり「自分はいい学校に学んだ」という確かな記憶を持って月日会の一員になること。それが月日会を充実させ、同時に田園調布高校をよりよき学校に高めてゆくことになる。一つの学校がよくなるか否かは、その同窓会の在り方にかかっている。

私が五十周年記念行事に関わったのは、まず、平成十年度のPTA会長として、佐藤前会長の後を引き継いだ実行委員長としてでした。実行委員長と云っても、実際には事務的な事情や委員会など学校側でやって下さっていたので、私としては会議に出席することがとりあえずの仕事だったように思っています。

実行委員長としての一年間で、具体的に決まったのは、記念行事の日にちと祝賀会の会場で、それ以外については大まかな目録と計画が立てられていた程度でした。会場に関しては、大田区民プラザのご好意で、「半年前の抽選」という形を取らずに、皆していただけのことになりました。これは本当に有り難いことでした。

祝賀会の準備をしていて楽しかったのはパネル作りです。私自身も私の知らない昔の出高の

創立50周年記念祝賀会



同窓会の厚みを増してゆく。田園調布高校は、月日会という立派な同窓会を持

る。有名大学に進学するのはよいことだ。しかし、必ずしも有名大学に進まなくてもよい。自分の進路をはっきり定めて、自分の仕事を大切に、一生懸命働く。芸能界やスポーツ界で、成いは学問の世界で、有名にならねばなるのもよい。それはそれで結構なことだ。有名にならなくてもよい。それぞれ自分の仕事を大切に、田園調布高校をよりよき学校に高めてゆくことになる。一つの学校がよくなるか否かは、その同窓会の在り方にかかっている。

田園調布高校の卒業生が、ひとりひとり「自分はいい学校に学んだ」という確かな記憶を持って月日会の一員になること。それが月日会を充実させ、同時に田園調布高校をよりよき学校に高めてゆくことになる。一つの学校がよくなるか否かは、その同窓会の在り方にかかっている。

私が五十周年記念行事に関わったのは、まず、平成十年度のPTA会長として、佐藤前会長の後を引き継いだ実行委員長としてでした。実行委員長と云っても、実際には事務的な事情や委員会など学校側でやって下さっていたので、私としては会議に出席することがとりあえずの仕事だったように思っています。

実行委員長としての一年間で、具体的に決まったのは、記念行事の日にちと祝賀会の会場で、それ以外については大まかな目録と計画が立てられていた程度でした。会場に関しては、大田区民プラザのご好意で、「半年前の抽選」という形を取らずに、皆していただけのことになりました。これは本当に有り難いことでした。

祝賀会の準備をしていて楽しかったのはパネル作りです。私自身も私の知らない昔の出高の

私事になって感懐だが、私は自分の母校田園調布高校を「ほんとうにいい学校に学んだ」と感謝している。よき先輩、よき友人、よき師に恵まれ、私という人間、人格を作ってくれたのは、あの田園調布高校だ。私はあの学校で学んだことを、人生最大の幸せだと心づけている。

田園調布高校の卒業生が、ひとりひとり「自分はいい学校に学んだ」という確かな記憶を持って月日会の一員になること。それが月日会を充実させ、同時に田園調布高校をよりよき学校に高めてゆくことになる。一つの学校がよくなるか否かは、その同窓会の在り方にかかっている。

私が五十周年記念行事に関わったのは、まず、平成十年度のPTA会長として、佐藤前会長の後を引き継いだ実行委員長としてでした。実行委員長と云っても、実際には事務的な事情や委員会など学校側でやって下さっていたので、私としては会議に出席することがとりあえずの仕事だったように思っています。

実行委員長としての一年間で、具体的に決まったのは、記念行事の日にちと祝賀会の会場で、それ以外については大まかな目録と計画が立てられていた程度でした。会場に関しては、大田区民プラザのご好意で、「半年前の抽選」という形を取らずに、皆していただけのことになりました。これは本当に有り難いことでした。

祝賀会の準備をしていて楽しかったのはパネル作りです。私自身も私の知らない昔の出高の

創立50周年記念事業決算報告

収入の部	決算	内訳
募入金	8,800,000	公費 980,000円、PTA 3,000,000円、月日会 2,000,000円、精液会 200,000円、計 1,600,000円 献金・地域12件 73,000円、50周年記念 25,000円、12区高等学校・PTA 42件 245,000円、同窓会 20件 68,000円、旧 PTA 51件 217,000円、同窓会 83件 209,000円、祝賀員・旧 PTA 81件 200,000円、預金利息
雑収入	452	
合計	9,800,452	
支出の部		
雑費	104,880	案内状・封筒・用紙用集書 50,715円、記念誌 1,600円 100,800円、祝賀会券 300部 14,175円、参加者名簿 12,000部、その他 12,190円
献金	206,745	祝賀会券 140,000円、書画 50,000円、記念誌印刷費 10,000円、その他 6,745円
記念品	1,436,400	CD 1,600枚
記念誌	2,294,092	記念誌 1,200部 2,280,000円、印刷費 14,092円
記念行事	1,473,854	CD制作及び当日演奏に関する諸費用 699,350円、演奏に関する諸費用 454,911円、その他 280,535円、印刷・郵送 119,695円、祝賀員 216,015円
祝賀会	1,371,043	レストランに於ける費用 378,250円、会場に関する諸費用 148,399円、その他 108,994円
諸雑費	416,406	記念誌、記念品印刷費 142,720円、写真・ビデオ関係 228,565円、その他 45,095円
寄付金	209,000	祝賀会券 20,780円、祝賀員 178,540円
予備費	743,820	解散会補助金 99,760円
合計	8,900,100	記念品の残

和やかな雰囲気

母校50周年への ご寄付ありがとうございました

- | | | | | | |
|----------------|--------|--------|---------------|--------|---------------|
| 元校長
清成 甲祐 | 早川 弘一 | 深浦 寿子 | 岩野 光邦 | 草木 キミ | 17期生
秋山 元伸 |
| 藤枝美保子 | 黒川 慶子 | 志村 年弘 | 中川 剛 | 川口 路子 | 西澤 章洋 |
| 河内 迪子 | 青木 安佐 | 伊藤 セン | 田中 協一 | 植田 正代 | 榎並 和子 |
| 海老沢良輔 | 中島 國幸 | 並木 敬子 | 板倉 勝沼 | 可井 広子 | 高田 裕子 |
| 網井 照高 | 石川 照子 | 網井 照高 | 堀越 節子 | 辻田 清 | 青山 泰和 |
| 2期生
井上 朋子 | 井上 朋子 | 井上 朋子 | 加藤 桂子 | 坂本 信代 | 福地 高和 |
| 3期生
宇都 正己 | 宇都 正己 | 宇都 正己 | 石井 七保美 | 関根 邦弘 | 榎山 朝子 |
| 4期生
中澤 明子 | 中澤 明子 | 中澤 明子 | 高橋 二美子 | 内藤 幸彦 | 榎山 朝子 |
| 5期生
東 愛子 | 東 愛子 | 東 愛子 | 大久保 界一 | 大久保 界一 | 榎山 朝子 |
| 6期生
大須賀 香身 | 大須賀 香身 | 大須賀 香身 | 21期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 7期生
神向 幸恵 | 神向 幸恵 | 神向 幸恵 | 22期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 8期生
山本 京子 | 山本 京子 | 山本 京子 | 23期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 9期生
中野 光邦 | 中野 光邦 | 中野 光邦 | 24期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 10期生
平沢 尚子 | 平沢 尚子 | 平沢 尚子 | 25期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 11期生
鈴木 洋子 | 鈴木 洋子 | 鈴木 洋子 | 26期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 12期生
長沢 伸 | 長沢 伸 | 長沢 伸 | 27期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 13期生
藤谷 之康 | 藤谷 之康 | 藤谷 之康 | 28期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 14期生
関根 邦弘 | 関根 邦弘 | 関根 邦弘 | 29期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 15期生
伊藤 真由美 | 伊藤 真由美 | 伊藤 真由美 | 30期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 16期生
木間 健一 | 木間 健一 | 木間 健一 | 31期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 17期生
寺嶋 さおり | 寺嶋 さおり | 寺嶋 さおり | 32期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 18期生
藤川 元 | 藤川 元 | 藤川 元 | 33期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 19期生
海老原 明子 | 海老原 明子 | 海老原 明子 | 34期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 20期生
北村 早百合 | 北村 早百合 | 北村 早百合 | 35期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 21期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 36期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 22期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 37期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 23期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 38期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 24期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 39期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 25期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 40期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 26期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 41期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 27期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 42期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 28期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 43期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 29期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 44期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 30期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 45期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 31期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 46期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |
| 32期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 47期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 |

月日会への ご寄付ありがとうございました

平成十一年度分(一九九九)

- | | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|---------------|
| 藤枝美保子 | 新井 義周 | 田島 照久 | 鎌田 雅之 | 37期生
小西 正晃 |
| 青木 安佐 | 菊池 利治 | 長谷川 正春 | 品川 美子 | 38期生
清水まゆみ |
| 小原 将司郎 | 浜田 千鶴子 | 金子 喜一郎 | 伊藤 真由美 | 39期生
小坂 安弘 |
| 黒川 慶子 | 黒川 慶子 | 黒川 慶子 | 伊藤 真由美 | 40期生
今井 大輔 |
| 2期生
真田 佳子 | 真田 佳子 | 真田 佳子 | 伊藤 真由美 | 41期生
今井 大輔 |
| 3期生
宇都 正己 | 宇都 正己 | 宇都 正己 | 伊藤 真由美 | 42期生
今井 大輔 |
| 4期生
中澤 明子 | 中澤 明子 | 中澤 明子 | 伊藤 真由美 | 43期生
今井 大輔 |
| 5期生
浦井 登代 | 浦井 登代 | 浦井 登代 | 伊藤 真由美 | 44期生
今井 大輔 |
| 6期生
小川 明 | 小川 明 | 小川 明 | 伊藤 真由美 | 45期生
今井 大輔 |
| 7期生
新井 義周 | 新井 義周 | 新井 義周 | 伊藤 真由美 | 46期生
今井 大輔 |
| 8期生
山本 京子 | 山本 京子 | 山本 京子 | 伊藤 真由美 | 47期生
今井 大輔 |
| 9期生
中野 光邦 | 中野 光邦 | 中野 光邦 | 伊藤 真由美 | 48期生
今井 大輔 |
| 10期生
平沢 尚子 | 平沢 尚子 | 平沢 尚子 | 伊藤 真由美 | 49期生
今井 大輔 |
| 11期生
鈴木 洋子 | 鈴木 洋子 | 鈴木 洋子 | 伊藤 真由美 | 50期生
今井 大輔 |
| 12期生
長沢 伸 | 長沢 伸 | 長沢 伸 | 伊藤 真由美 | 51期生
今井 大輔 |
| 13期生
藤谷 之康 | 藤谷 之康 | 藤谷 之康 | 伊藤 真由美 | 52期生
今井 大輔 |
| 14期生
関根 邦弘 | 関根 邦弘 | 関根 邦弘 | 伊藤 真由美 | 53期生
今井 大輔 |
| 15期生
伊藤 真由美 | 伊藤 真由美 | 伊藤 真由美 | 伊藤 真由美 | 54期生
今井 大輔 |
| 16期生
木間 健一 | 木間 健一 | 木間 健一 | 伊藤 真由美 | 55期生
今井 大輔 |
| 17期生
寺嶋 さおり | 寺嶋 さおり | 寺嶋 さおり | 伊藤 真由美 | 56期生
今井 大輔 |
| 18期生
藤川 元 | 藤川 元 | 藤川 元 | 伊藤 真由美 | 57期生
今井 大輔 |
| 19期生
海老原 明子 | 海老原 明子 | 海老原 明子 | 伊藤 真由美 | 58期生
今井 大輔 |
| 20期生
北村 早百合 | 北村 早百合 | 北村 早百合 | 伊藤 真由美 | 59期生
今井 大輔 |
| 21期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 60期生
今井 大輔 |
| 22期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 61期生
今井 大輔 |
| 23期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 62期生
今井 大輔 |
| 24期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 63期生
今井 大輔 |
| 25期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 64期生
今井 大輔 |
| 26期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 65期生
今井 大輔 |
| 27期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 66期生
今井 大輔 |
| 28期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 67期生
今井 大輔 |
| 29期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 68期生
今井 大輔 |
| 30期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 69期生
今井 大輔 |
| 31期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 70期生
今井 大輔 |
| 32期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 71期生
今井 大輔 |
| 33期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 72期生
今井 大輔 |
| 34期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 73期生
今井 大輔 |
| 35期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 74期生
今井 大輔 |
| 36期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 75期生
今井 大輔 |
| 37期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 76期生
今井 大輔 |
| 38期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 77期生
今井 大輔 |
| 39期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 78期生
今井 大輔 |
| 40期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 79期生
今井 大輔 |
| 41期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 80期生
今井 大輔 |
| 42期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 81期生
今井 大輔 |
| 43期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 82期生
今井 大輔 |
| 44期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 83期生
今井 大輔 |
| 45期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 84期生
今井 大輔 |
| 46期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 85期生
今井 大輔 |
| 47期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 86期生
今井 大輔 |
| 48期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 87期生
今井 大輔 |
| 49期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 88期生
今井 大輔 |
| 50期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 89期生
今井 大輔 |
| 51期生
榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 榎山 朝子 | 伊藤 真由美 | 90期生
今井 大輔 |

これからもよろしく
応援お願いいたします

(各期共相不同)

進路状況

48期生の4年制大学進学先

()は指定校推薦、|は公募推薦で内教

Table with 3 columns of university names and counts. Includes schools like 横浜国立, 東京国立, 立教, etc.

通学の足の悪い出消える



(東急パンフレットより引用)

田園調布にお住いの方はすでにご周知のことであると思いますが...

Table titled '教職員異動' (Staff Changes) listing names and departments.

名物先生訪問 (Famous Teacher Interview) featuring a portrait of 廣瀬ミネ子先生 and introductory text.

日仏50周年には創作ダンスを作って踊りましょう (For the 50th anniversary of the Japan-France friendship, let's create and dance to original dances.)

近況 (Recent News) section containing several short articles and photos, including a photo of a dance performance.

15期同期会のお知らせ (Notice for the 15th Anniversary Alumni Meeting) and 編集後記 (Editorial Note).

皆様からのご連絡を! (We welcome your contact!) section with contact information and a closing message.